

教科名〔 芸術 〕

科 目 名	単 位 数	学 年 ・ 組	担 当 者 名
書道Ⅲ	2単位	選択 3年 1～6組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	①書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。 ②日本や中国の書の文化や伝統についての理解を深め、尊重する態度を高める。 ③感性をさらに磨き、個性豊かな書の表現力と鑑賞力を高める。
使用教科書・副教材等	大阪書籍『高校書道Ⅲ』 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント				
						関心・意欲・態度	工夫	芸術的な感受や表現	創造的な表現の技能	鑑賞の能力
第1学期	◎ 授業内容アンケート ◎ 隷書の学習 ・ 隷書の基本用筆と特徴 ・ 臨乙瑛碑3種類 ・ 姓名を隷書風に書く ◎ 姓名五書体検字プリント	4 ・ 5	・ 授業開始に際し関心・意欲・態度を知る。 ・ 隷書の書道史上の意義を理解する。 ・ 基本用筆法と特徴を理解し、表現する。 ・ 臨書により隷書の結構法に慣れる。 ・ 書体辞典の使い方を理解し正確に検字する。 ・ 今後の手引きになるので、ていねいに竈字をとり資料をつくることで各書体の特徴理解を深める。 ・ 姓名を書くことにより、各書体の用筆法を整理し表現力を高める。	アンケート 書体辞典プリント	第1学期中間考查	○				○
	◎ 姓名を六書体で書くⅠ（半紙四字サイズ） ◎ 姓名を六書体で書くⅡ（芳名録・細字） ◎ 表札草稿 ◎ 表札を作る。 ・ 刻法 ・ 焼板 彩色 ◎ 文字染め創作Tシャツ ・ 草稿・型紙彫り・染	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	・ 書体の特徴を理解し統一した表現が出来るように意識して書く。 ・ 細字でも書体の特徴を明確に表現できる力量をつける。 ・ 練習量のチェックをし自分の技量との葛藤を大切にする。 ・ 表札に使う書体を絞り込む。 ・ 効果的に立体化する刻し方を選び手順を追って計画的に完成させる。 ・ 主体的に独自の工夫を楽しむ。 ・ 完成までの手順の理解をきちんと確認する。 ・ 表現効果を考え、手を抜くことなく、段階を追って完成までの工程を成し遂げる。	表札展示 創作Tシャツ展示		第1学期期末考查	○	○	○	○

第2学期	・創作Tシャツ製作者カードを書く <展示> ◎ 第33回書道コンクール出品作品を書く。 ・各自で出品法帖を決め練成する。 ◎ 新聞の折り込みチラシなどでエコ手漉き葉書を作ろう。 ◎ 葉書作品を書く。	9・10	・製作意図がわかるようにカードを書いて完成Tシャツを展示する ・3年間の集大成であるので、各自出品法帖を決め書き込み作品の完成度を高める。 ・作品の練度をより高め、達成感を得る。 ・作業手順を理解する。 ・興味を持って意欲的に取り組む。 ・手漉きの風合いを生かして書作する。	Tシャツ展示		○		○	
	◎ 文字を使わず点と線でイメージを表現しよう。 「エネルギー・激・強」 「デリケート・静・弱」 ◎ 大字一字作品 ・淡墨 ・濃墨 ◎ 批評会 ◎ 細字・年賀状 ◎ 和紙20枚を染める。(技法4種と墨流しを自由に組み合わせ)	10・11・12	・文字の意味に頼らない純粹表現ができるよう多様な線質、点の筆触にこだわって表現活動を試みる。 ・体全体が筆と一体化し、スケールの大きな筆の動きができるよう思い切って書く。 ・気持ちにかなった1字を選び、これまでに身につけた総合的な表現力を発揮して書く。 ・次の製作のステップになるよう、プラス面マイナス面の両視点から批評し合うことで、仲間を評価し励ます力をつける。 ・実用的で芸術性をプラスした年賀状を工夫する。 ・1, 2年で実践した技法をステップアップさせ卒業制作用の紙を染めておく。	佳作品は第59回高校展に出品		○	○	○	○
第3学期	◎ 第59回大阪府高校書道展鑑賞レポート ◎ 漢字仮名混じり文創作『卒業記念作品』 染紙20枚に作品完成 ◎ 表具・パネル貼り ◎ 実用書式 慶弔の上書 ◎ 姓名六書体実技テスト	1・2・3	・興味を持って鑑賞し視野を広げる。卒業後の作品制作や鑑賞への意欲を喚起する。 ・卒業制作にふさわしい完成度の作品を総合的に工夫する。 ・協力して、ペアでパネル製作の作業をする。 ・慶弔の慣習を理解し、実用的な筆写力を高める。 ・姓名六書体を完全に覚え、細字自運で書くことで3年間の書道の学習を締めくくる。	全卒業作品展示	学年末考査	○	○	○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 作品は基本的に毎時提出。合格制。 練習作品とプリントもすべてファイルにとじ、各考査前に提出。 2学期に書道コンクール出品。鑑賞レポート。									
【1・2・3学期における評価方法】 毎時の提出作品。各考査前に提出のファイル。プリント記入状況。授業時の取り組み状況の観察。自己評価表。感想文。等これらを総合的に評価する。									